

忘れられた明石八景

— 俳諧師・西山宗因 —



江戸時代の大蔵谷
播磨名所巡覧図会 5巻

江戸前期の俳諧師・西山宗因(1605～82年)はたびたび明石を訪れ、その風物を句に詠んでいます。なかでも「明石山荘記」という紀行文は藩内の美景八ヶ所を選び、句を添えて“明石八景”をまとめた楽しい作品ですが、現在では知る人も少ないようです。埋もれた明石八景はどんなものだったのか？私たちがふだん目になっている風景のなかから宗因は何を選んだのか？江戸時代の明石をしのびながら、「明石山荘記」を読み直してみましょう。



「西山宗因像」
山口雪溪筆 江戸時代中期



西山宗因句碑
(八代城跡)

2018年 **5/30** wed 18:00 ~ 19:00 (17:30 open)

話題提供 **中村 健史** 神戸学院大学人文学部准教授

場所 **大塩邸** (地域研究センター明石ハウス)

明石市大蔵八幡町 5-23

予約不要・参加費無料

神戸学院大学地域研究センター

☎ 651-2180

神戸市西区伊川谷町有瀬 518

☎ 078-974-4232 (火・水・金)

E-mail: frb@human.kobegakuin.ac.jp

■バス：JR明石駅より神姫バス「黒橋」下車、徒歩9分

■電車：山陽電車「大蔵谷駅」下車、徒歩5分

JR「明石駅」下車、徒歩15分
(南口より国道2号線を東へ)

■車：大蔵海岸西駐車場をご利用ください。
(有料：1時間100円)

